

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	財務部財政課		■担当係	財政係
■評価事業名称	北上さくら債発行事業			
■評価事業コード	020100 - 008	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築		
	■施策	04 安定した財政基盤の確立		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地方財政法、地方自治法、金融商品取引法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	公募地方債の発行を通して、市民の行政に対する参画する意識を醸成するとともに、市の健全財政に資する。住民参加型市場公募地方債「北上さくら債」の発行(発行総額0億0千万円)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上さくら債発行事業	市民		発行の是非についての検討の結果、本年度は発行しないこととした。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	22	4			386千円は償還利子
人件費	4,611	2,454	81	79	
その他(公債費・減価償却費等)				386	
フルコスト	4,633	2,458	81	465	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	販売額	1.5億円	1.5億円	-	-	H20年度までは購入者数を記載。H21年度から抽選方式から窓販方式に変更したため、購入者数の把握が不能となったことから活動指標を販売額に変更。
04	当選者1人あたりコスト	-	-	-	-	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

05	応募者1件あたりコスト	-	-	-	-	
06	発行額100万円あたりコスト	30,886円	16,386円	-	-	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☒ A. 順調
- ☐ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

起債発行額の抑制に伴い、さくら債の発行を行わなかった。有利な条件で発行する趣旨であるから、「発行なし」というのは目標を達成したといえる。

問題点・課題等

1. 直接的な受益者の範囲

- ☒ 不特定多数に及ぶ
- ☐ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☒ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
- ☐ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☐ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☒ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明

調達金利が低い状況にあるので、現在のところ発行のメリットはあまりない。